

2016 年度事業報告

公益財団法人阿蘇グリーンストック

一、各事業報告

1 自然保全事業（公1）

【草原保全活動】

（1）野焼き・輪地切り支援活動

草原保全活動センターを拠点とし、野焼き・輪地切り支援活動等の草原保全活動について、安全管理を徹底しグリーンストック運動の最も重要な事業（活動）として取り組みました。熊本地震による影響は阿蘇市、南阿蘇村、西原村で一部野焼きを中止（1,200ha 全体の7.5%）したところがありましたが、それでも年間の支援牧野数は63牧野で、延べ2,468名の参加がありました。

野焼き再開については3カ所（西湯浦、草千里周辺、小倉原）に取り組み、一方では今後に向けて野焼き再開候補地を検討しています。また、今後の野焼き支援活動を取り組むにあたって各牧野との協議も行いました。

詳細は下記のとおりです。

① 輪地切り・輪地焼き支援活動期間

- ・実施時期：2016年9月1日～2017年3月22日
- ・実施場所：阿蘇地域市町村 77カ所
- ・派遣人数：延べ1,276名
 - 阿蘇市（舞谷、二塚 他21牧野）計665名
 - 南小国町（慈門坊、田の原牧野 他5牧野）計115名
 - 高森町（上在、花咲盛牧野 他5牧野）計282名
 - 南阿蘇村（なわす、中松1区牧野 他4牧野）計155名
 - 小国町（縦木）20名
 - 西原村（鳥子）39名

② 野焼き支援活動期間

- ・実施時期：2017年2月8日～4月23日（3月予定が延期のため4月実施）
- ・実施場所：阿蘇地域市町村 65カ所
- ・派遣人数：延べ1,192名
 - 阿蘇市（舞谷、二塚 他24牧野）計531名
 - 南小国町（慈門坊、田の原牧野 他9牧野）計208名
 - 高森町（上在、村山牧野 他6牧野）計230名
 - 南阿蘇村（下磧、中松1区牧野 他4牧野）計125名
 - 小国町（縦木）計43名
 - 西原村（鳥子、大切畑、萌の里）計44名
 - 山都町（柳谷牧野）計11名

(2) 研修会の開催等

野焼き・輪地切り支援活動について、引き続き安全管理の強化のための講習会、研修会等を開催しました。また、支援牧野の増加もありボランティア会員の増員に向けて草原保全活動センターを活用し、強化してきました。会員登録は2017年4月末現在861名となっています。

① 野焼き支援ボランティアリーダー全体会の開催

第1回	(2016.6.18)	参加者 46名
第2回	(2016.8.27)	参加者 43名
第3回	(2016.12.17)	参加者 37名
第4回	(2017.1.28)	参加者 45名

② 刈払機安全講習会の開催

第1回	(2016.9.3)	参加者 43名
第2回	(2016.9.10)	参加者 24名
第3回	(2016.9.22)	参加者 13名

③ リーダー養成研修会

第1回	(2016.7.23)	参加者 3名
第2回	(2017.1.21)	参加者 2名

④ 初心者研修会

第1回	(2016.12.11)	参加者 33名
第2回	(2017.1.22)	参加者 37名
第3回	(2017.2.4)	参加者 69名
第4回	(2017.2.12)	参加者 45名
第5回	(2017.2.22)	参加者 48名
日本航空	(2017.2.11・13)	参加者 24名
南倫理法人会	(2017.1.15)	参加者 18名

合計 274名参加

⑤ 火引き研修会

第1回全体研修会	(2017.1.24)	参加者 20名
第2回実技研修会	(2017.3.1)	参加者 15名
第3回実技研修	馬場豆札 (2017.3.5)	参加者 8名
	小倉原 (2017.3.5)	参加者 4名
	立山 (2017.3.5)	参加者 8名
	瀬田立野 (2017.3.12)	参加者 10名
	樺木 (2017.3.22)	参加者 5名

⑥ 野焼き従事者安全管理研修会

南阿蘇村	(2017.2.9)	9 牧野参加
南小国町	(2017.2.28)	12 牧野参加
西原村	(2017.2.28)	2 牧野参加
阿蘇市 (波野地区)	(2017.3.16)	9 牧野参加

(3) 活動時のボランティア宿泊支援

活動時のゆたっと村宿泊に関しては低価格(1泊600円+光熱費)にて提供し、遠方より参加の場合や、ボランティア開始時間が早いため、移動中の自動車事故防止のためにも利用していただけるようしています。今年度は延べ134名の利用がありました。

<参考>

安全管理の徹底を図るために、安全管理委員会を4回開催して活動時の注意事項、活動後の総括、マニュアルの見直し等を検討し、リーダー全体会へ繋ぎました。その上で、現場での作業前の注意事項の伝達等、参加者への安全面での周知徹底を行いました。

【森づくり活動】

水源涵養の森づくり活動については、連携企業・団体の方々と共に、これまで植林してきた広葉樹の森の下草刈りや枝打ち作業を行う予定でしたが、熊本地震及び爆発的噴火によりすべて中止となりました。

(西陵ロータリークラブ、コカ・コーラウエスト、富士通)

【普及啓発活動】

野焼き支援活動の情報発信及び普及・啓発、広がりづくりについて下記の様に取り組みを行いました。

(1) シンポジウム：阿蘇草原の未来を語る（阿蘇地域の創造的復興に向けて）

- ・開催日 2017年3月28日
- ・会場 草原学習館（阿蘇市）
- ・参加人数 110名
- ・内容 地震による草原への影響について報告会
環境省の取組み紹介
パネルディスカッション
コーディネーター 坂本 正氏(阿蘇草原千年委員会委員長)
パネラー参加者
① 高橋佳孝氏(阿蘇草原再生協議会会長)
② 熊本県(地域振興課 小牧課長)：熊本県の取組み紹介
③ 地元牧野組合(下野牧野 塚元氏、枳(げず)原野組合 村上氏)
④ 稲吉淳一氏(阿蘇市観光協会会長)

(2) 阿蘇草原の野焼き活動のための入門セミナー・野焼き見学会

- ・「草原保全・再生セミナーin福岡」
- ・実施日 2017年11月22日 22名参加
12月4日 50名参加

- ・実施場所 アクロス福岡（福岡市）
- ・内容 ①草原の機能、草原保全の仕組みの研修のためのセミナー
②来春の野焼き体験企画を紹介し、参加を募り支え手拡充に繋げる
- ・2月18日に町古閑牧野で、セミナー参加者を対象に野焼き見学を実施
参加者45名で野焼きボランティアを希望される方が8名ほどあった

(3) 野焼き見学会

- ・野焼きの現場を見てもらい、草原の現状についての理解とボランティア活動への参加を呼び掛けました。
- ・7カ所を予定しましたが3カ所が実施され安全に見学ができました。
実施・・・山鳥川牧野（南小国町）、町古閑牧野（阿蘇市）、村山牧野（高森町）
中止・・・花咲盛、蔵地牧野（高森町）、白川牧野（南小国町）、波野トラスト地（阿蘇市）

※ 公1の収支決算は次の通りです。

科目	金額	備考
活動会員受取会費	1,477,300	野焼きボランティア会費
自然保全事業収益	30,732,599	草原保全システム(2,382万)、 機関誌購読、研修他事業
ゆたっと村利用事業収益	77,700	ボランティア活動時の宿泊費
受取補助金等	11,802,541	阿蘇草原再生募金助成金(200万) 大東建託みらい基金(100万) 多面的機能支払(880万)
受取寄付金	5,560,253	草原ハンバーグ(70万)、熊本トヨタ(203万)、コカ・コーラいろはすプロジェクト(122万) 松合食品(10万)、一如社(30万) 他
雑収入	170,898	
収入合計	49,821,291	

人件費計	16,206,254	
物件費計	35,110,228	
支出合計	51,316,482	

(収入) 49,821,291円 - (支出) 51,316,482円 = △1,495,191円

2 自然体験・農業体験学習事業（公2）

（1）農村体験型修学旅行受入事業（ファームステイ）

子どもたちが一般の農家に民泊し、阿蘇の農村での生活や様々な農業体験を通して農業・農村の大切さを学び、自然や人とのふれあいを大切にした体験企画などで、青少年の健全な育成を目指すことを目的に取り組みを予定していましたが、熊本地震により18校（2,807名）がキャンセルとなりました。

阿蘇市、南小国町、南阿蘇村、西原村、高森町の約120軒の受け入れ農家の方と安全講習会・衛生講習会を経て中・高校生の農村民泊及び農業体験学習などの受け入れ準備を行いました。また、草原に係る体験メニューの開発を進めて来ました。

ファームステイの実績は以下の通りです。

4月14日（木）香川県 観音寺市立豊浜中学校 71名（南小国町受入）

12月10日（土）JYENESYS（ニュージーランドより）30名（阿蘇市手野）

（2）環境教育及び農業体験事業

将来の阿蘇を担っていくことになる地元の子供たちをはじめ、都市の子供たち、また高校生、大学生、団体へ、草原トレッキングやクラフト体験などを含め様々な自然・農業体験プログラム等の企画を通じ環境教育について取り組みました。

○地元小学生の草原環境・体験学習

- ・ 5月18日 白水小3年 11名 「オオルリシジミの学習」
- ・ 6月14日 阿蘇小6年 46名 「野焼きのあとを見てみよう」
- ・ 7月14日 内牧小4年 49名 「カルデラと草原のなりたち」
- ・ 9月27日 山田小6年 9名 「ススキの卒業証書づくり：ススキ刈り」
- ・ 10月12日 阿蘇小6年 46名 「ススキの卒業証書づくり：ススキ刈り」
- ・ 10月13日 産山小4年 14名 「ススキの野草紙づくり：ススキ刈り」
- ・ 11月8日 阿蘇西小6年 30名 「草原体験」
- ・ 11月22日 阿蘇小6年 46名 「ススキのフクロウづくり」
- ・ 1月27日 高森中央小4年 45名 「野焼き事前学習と火消し棒作り」
- ・ 2月13日 阿蘇小5年 42名 「野焼き事前学習と火消し棒作り」
- ・ 2月22日 一の宮小4年 73名 「野焼き事前学習と火消し棒作り」
- ・ 2月24日 一の宮小4年 73名 「野焼き体験」
- ・ 2月27日 阿蘇小5年 42名 「野焼き体験」
- ・ 2月28日 高森中央小4年 45名 「野焼き体験」

参加人数：延べ合計約 558名

○ススキを使った卒業証書づくり

実施日 : 平成28年12月～平成29年1月

実施場所 : 各小学校

対象者 : 阿蘇地域内小学校（産山、阿蘇、阿蘇西）

参加人数 : 延べ合計約 90人

(3) ゆたっと村での体験事業

修学旅行生、地元団体、一般の方などを対象に、ゆたっと村里山交流館の周辺の農地、山林等を利用した里山の暮らしの体験を行う予定でしたが、熊本地震により都市農村交流施設も被災し半年ほど営業を見合わせていました。

下記の行事は行いました

- ・12月24日 もちつき 26名参加
- ・1月14日 どんどこや 15名参加

公2の収支決算は次の通りです。

科目	金額	備考
村民受取会費	129,000	村民会費
自然体験・農業体験学習事業収益	4,585,180	民泊・体験受け入れ(38万)、阿蘇市草原観光拠点づくり(420万)
ゆたっと村体験事業収益	150,000	もちつき、どんどこや、ミニほうきづくり他
受取補助金等	400,000	体験メニュー(北外輪フィールド利用)開発
収入合計	5,264,180	
人件費計	1,767,032	
物件費計	4,937,220	
支出合計	6,704,252	

(収入) 5,264,180円 - (支出) 6,704,252円 = △1,440,072円

3 調査・研究事業(公3)

6年目となる北外輪地区湿地に於ける生物多様性保全実証事業に引き続き取り組み、経過報告と今後の調査及び実証事業を策定するための専門家委員会を開催しました。一方で、草資源の利活用について調査を進めています。

- ・草刈と刈草の運び出しによる希少植物の保全実証試験(2016.7.7、2016.8.29実施)
- ・植生調査(2016.8.18・19実施)
- ・専門家委員会の開催(第1回2016.6.9、第2回2017.3.31)
- ・草資源事業化に向けた調査(報告書の作成)

公3の収支決算は次の通りです。

科目	金額	備考
事業収入	300,000	阿蘇市草原環境共生基金30万
受取補助金等	300,000	募金助成30万
収入合計	600,000	

人件費計	183,448	
物件費計	481,960	
支出合計	665,408	

(収入) 600,000 円 - (支出) 665,408 円 = △65,408 円

4 あか牛オーナーへのあか牛肉販売事業(収1)

阿蘇の草原を守るためには、阿蘇の草原を利用した畜産業の発展が最も有効な手段となります。独特な事業として阿蘇のあか牛の増頭又は維持に向けた畜産農家への支援のために県内外の方へオーナーへの参加を呼び掛けました。

①あか牛オーナー制度について

(一般オーナー)

2016 年度新規契約オーナー数 6 名 (あか牛 5 頭)

2016 年度時オーナー数 23 名 (あか牛 23 頭)

合計 29 名 (あか牛 28 頭)

受入牧野のエリアに関しては、南阿蘇畜産農業協同組合の協力もあり阿蘇市、南阿蘇村、高森町に及んでいます。また、オーナー代表者会議を年2回、名前書き交流会を年1回開催しオーナー制度の運営及びオーナーと受入農家との交流を図りました。

オーナー交流会開催 10月1日 13名参加

狩尾牧場見学・名前書き、大観峰見学、神楽フェスティバル見物

②あか牛肉販売について

あか牛オーナー制度(オーナーより1頭につき30万円を預り金扱いとし、30万円を畜産農家へ繁殖牛購入資金として無利子で貸し出す)については、年間6万円を目途にオーナーの申込みに応じてあか牛肉を5年に亘ってお届けするものです。

収1の収支決算は次の通りです。

科目	金額	備考
活動会員受取会費	84,000	
事業収益	3,740,520	契約終了後(残金あり)の利用、 超過利用
雑収入	168,420	保冷箱、保冷剤代
収入合計	3,992,940	

人件費計	109,554	
物件費計	3,218,911	
支出合計	3,328,465	

(収入) 3,992,940 円 - (支出) 3,328,465 円 = 664,475 円

5 食事提供及び農産物の販売等事業（収2）

震災により9月後半より、あか牛肉の利用普及のために、ゆたっと村でバーベキューの提供を行いました。又、地元の農産物の販売を道の駅でも委託販売をした事業収入がありました。

- ① ゆたっと村での宿泊、バーベキューを団体や個人に提供しました。
- ・ 宿泊、施設利用 延べ89名（2015年 216名） 昨年比41%
 - ・ バーベキュー等の提供 78名（2015年 179名） 昨年比43%
- ② 農産物の収穫・販売をしました。
- ・ 椎茸 ・ たけのこ ・ 栗 ・ ブルーベリー ・ さつまいも ・ 梅 ・ 季節の野菜

収2の収支決算は次の通りです。

科目	金額	備考
事業収益	722,363	
収入合計	722,363	

人件費計	152,901	
物件費計	409,071	
支出合計	561,972	

(収入) 722,363円 - (支出) 561,972円 = 160,391円

6 受託調査事業（収3）

阿蘇草原再生野草地環境保全計画調査事業（環境省、通称「牧野カルテ」）について、阿蘇草原再生協議会会員で国立公園内の牧野組合を対象とした環境省による調査事業で、草原文化（草原の活用、地名、希少動植物等の調査）及び草原保全（野焼き作業軽減の為の防火帯整備等の調査）について調査を行ってきました。

調査牧野は西小園牧野、馬場豆札（阿蘇市）、樅木牧野（小国町）、扇牧野（南小国町）の4牧野組合でした。

収3の収支決算は次の通りです。

科目	金額	備考
事業収益	16,740,000	
収入合計	16,740,000	

人件費計	5,997,680	
物件費計	8,624,990	
支出合計	14,622,670	

(収入) 16,740,000円 - (支出) 14,622,670円 = 2,117,330円

7 受託管理事業（収4）

（1）事業の内容

環境省の「草原学習館」及び阿蘇市の「草原情報館」の2つの施設管理を受託し、それぞれ下記のような施設概要で、連携して管理運営にあたりました。主には財団で施設、警備、清掃、日常管理、総合窓口、来客者対応、案内、展示物管理、情報提供ホームページ管理等を行ってきました。

- ・草原学習館来館者数 7,226名（目標13,000名に対して56%の達成）
- ・草原情報館来館者数 7,410名

（2）施設の概要

①環境省「草原学習館」

- ・規模：建築面積806.28㎡、延床面積：684.37㎡
- ・構造：木造平屋建て
- ・機能：レクチャールーム、展示、屋外作業スペース、事務室、トイレ、倉庫
- ・駐車場：普通車33台、身障者用1台、大型バス2台

②阿蘇市「草原情報館」

- ・規模：建築面積729.48㎡、延床面積：648.07㎡、広場：1,200㎡
- ・構造：木造一部鉄骨造平屋建て
- ・機能：ワークスペース、事務室、オフィス、トイレ、倉庫、駐輪場
- ・駐車場：普通車71台、身障者用2台、大型バス2台

収4の収支決算は次の通りです。

科目	金額	備考
受託管理事業収入	8,868,040	草原学習館718万、草原情報館179万
収入合計	8,868,040	

人件費計	3,934,223	
物件費計	3,719,779	
支出合計	7,654,002	

（収入） 8,868,040円 －（支出） 7,654,002円 ＝ 1,214,038円

7 法人会計

- ・月次決算等、会計処理については公認会計士に委託して運営しました。

法人会計の収支決算は次の通りです。

科目	金額	備考
基本財産運用益	400,000	
維持賛助会費	3,159,000	
雑収入	274,735	20周年150万、交通費他
収入合計	3,833,735	

人件費計	637,777	
物件費計	2,997,528	
支出合計	3,635,305	

(収入) 3,833,735 円 - (支出) 3,635,305 円 = 198,430 円

二. 2016 年度収支決算について

- (1) 上記のとおり事業全体としての経常収支は

(収入) 89,842,549 円 - (支出) 88,488,556 円 = 1,353,993 円
となります。

- (2) 2016 年度の法人税の支払額は 545,400 円となっています。

(2015 年度の法人税調整分 229,400 円の支払い含む、
2015 年度の法人税 386,900 円 2016 年度の法人税 316,000 円)

- (3) よって、当期一般正味財産増減額は、808,593 円となります。

1,353,993 円 - 545,400 円 = 808,593 円

- (4) 公益事業比率は、58,686,142 円 ÷ 88,488,556 円 = 66.32%

となります。